

# 受け入機関:医療機関(MSW) 実習プログラミング・ワークシート(例)

一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会

2013.11.13改訂

区分	実習のねらい	プログラム(実習経験)	指導方法・指導上の留意点	実習上で必要となる			
				価値・倫理(原理・原則)	技術		
事前学習	(1)事前学習 ①医療・福祉制度、実習機関の理解 ②対象者の特性の理解 ③ソーシャルワークの知識・技術・倫理価値観全般の理解	・ソーシャルワークに関する文献学習 ・医療・福祉制度に関する文献学習 ・倫理綱領・行動基準に関する文献学習 ・面接・コミュニケーション技術の学習 ・実習機関・対象者に関する学習	・「医療福祉実習マニュアル」を読んでもらい、ソーシャルワーク業務及び機関の基礎知識を習得できるように説明する ・本学で学んだ面接法の振り返りを行う ・施設法的根拠等を事前に調べてきてもらう ・事前学習に必要な図書や文献等の提示を具体的にを行う ・倫理綱領、行動基準を読んでもらう	・医療・福祉制度に関する知識 ・実習機関に関する知識 ・疾病及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・倫理綱領及び業務指針 ・ソーシャルワークの知識全般 ・面接技法及びコミュニケーションに関する知識 ・バイステックの7つの原則 ・社会的マナー(挨拶、服装、時間管理等)	・面接技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	「医療福祉実習マニュアル」 「医療福祉実習マニュアル」 実習契約書、合意書、指針 ・実習機関のパンフレット、ホームページ ・病院組織図 ・就業規則、個人情報保護規定 ・ソーシャルワーク部門年度総括・方針計画 ・実習プログラミング・ワークシート ・倫理綱領・行動基準 ・医療ソーシャルワーカー業務指針 ・関係図書	
	(2)事前訪問 ①実習課題や目的の明確化 ②実習におけるルールの確認 ③実習機関及び実習スーパーバイザーとの関係づくり	・実習計画書の作成と検討 ・ケース研究についての書式と方法の確認 ・事前学習の進捗状況についての確認 ・機関の機能や役割についての説明及び質疑 ・機関内見学 ・実習における注意事項及びルールについての説明	・実習課題を確認し、必要な実習体験について協議し、実習計画書を一稿に作成する ・ケース研究について、各養成校で用いる書式と内容を確認し、実習開始後の展開について説明する ・実習計画書は具体的にかつ現実的で、評価がしやすいように作成してもらうように説明する ・事前学習で学んだ内容などを持参してもらい、それらの理解を共有する ・実習契約書及び合意書、指針を見せると、実習生の役割を明確化する ・実習機関における注意事項及びルール(就業規則、服務規程等)について説明する	・実習初日に再度実習計画書を確認し、具体的な実習プログラムの環境について説明する ・実習記録の書き方について指導する。特に経験した事実、指導や説明を受けた内容と、自分の感じたことや考察を付けて記載してもらう ・施設概要を理解したかスーパービジョンやロールプレイ、日誌等で確認する ・組織運営や経営については、委員会等への見学が難しい場合、口頭及び資料を提示して説明する ・実習機関の事業計画、事業報告、予算、決算について可能な範囲で実習生へ提示し説明する	・医療・福祉制度に関する知識 ・実習機関の種別や役割に関する知識 ・他職種・チームアプローチに関する知識 ・医療や福祉を取り巻く現状についての知識 ・ソーシャルワーカーの役割・業務内容についての知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術	
第一週	(1)実習内容の確認	・実習オリエンテーションを行う ・事前学習の状況及び実習プログラムの確認	・実習初日に再度実習計画書を確認し、具体的な実習プログラムの環境について説明する ・実習記録の書き方について指導する。特に経験した事実、指導や説明を受けた内容と、自分の感じたことや考察を付けて記載してもらう ・施設概要を理解したかスーパービジョンやロールプレイ、日誌等で確認する ・組織運営や経営については、委員会等への見学が難しい場合、口頭及び資料を提示して説明する ・実習機関の事業計画、事業報告、予算、決算について可能な範囲で実習生へ提示し説明する	・医療・福祉制度に関する知識 ・実習機関の種別や役割に関する知識 ・他職種・チームアプローチに関する知識 ・医療や福祉を取り巻く現状についての知識 ・ソーシャルワーカーの役割・業務内容についての知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術		
	(2)実習機関の理解	・実習機関の役割・機能について具体的に説明 ・実習機関の組織運営や経営について説明 ・実習機関の根拠法令等(医療法、施設基準、診療報酬)についての説明 ・現在の医療・福祉の動向について説明	・施設概要を理解したかスーパービジョンやロールプレイ、日誌等で確認する ・組織運営や経営については、委員会等への見学が難しい場合、口頭及び資料を提示して説明する ・実習機関の事業計画、事業報告、予算、決算について可能な範囲で実習生へ提示し説明する	・医療・福祉制度に関する知識 ・実習機関の種別や役割に関する知識 ・他職種・チームアプローチに関する知識 ・医療や福祉を取り巻く現状についての知識 ・ソーシャルワーカーの役割・業務内容についての知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術		
	(3)各部門・職種との関係	・各部門・職種とその機能と関係についての説明 ①他部門、他職種の理解 ②他部門、他職種との関係の理解 ③他職種の業務見学及び体験	・他職種の役割やソーシャルワーカーとの連携状況についての理解を確認する		・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術		
	(4)ソーシャルワーク部門の理解	・ソーシャルワーク業務の説明 ・ソーシャルワーカーの業務同行(面接、電話、連携、カンファレンス、ミーティング、病状説明等) ①機関でのソーシャルワーカーの役割・特性の理解 ②ソーシャルワーカーの紹介過程の全体理解 ③ソーシャルワーカーの1日目の業務理解	・業務同行等の観察ポイントを具体的に提示する ・面接同行のポイントと注意事項を説明する ・ソーシャルワーク記録を数多く読み込み、クライアント及び家族がどのような生活課題を持っていて、ソーシャルワーカーがどのように支援しているのかを理解してもらう	(価値と原則) 人間の尊厳、社会正義、真誠、誠実、専門的力量 【倫理基準】 ＜1. 利用者に対する倫理責任＞ ①利用者との関係 ②利用者の利益の最優先 ③説明責任 ④利用者の自己決定の尊重 ⑤利用者の意思決定能力への対応 ⑥秘密の保持 ⑦記録の明示 ⑧情報の共有 ⑨性的差別、虐待の禁止 ⑩権利侵害の防止 ＜2. 実践現場における倫理責任＞ ①患者の実践を行う責務 ②他専門職等との連携・協働 ③実践現場と綱領の遵守 ④業務改善の推進 ⑤利用者に対する倫理責任 ⑥ソーシャル・インクルージョン	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	医療及び福祉に関する資料(パンフレットや文献)カルテ(診療録、看護記録、リハビリテーション記録等) 診療報酬に関する資料(診療録調整加算、患者サポート体制加算、介護連携指導料、地域連携バス)倫理綱領、行動基準、業務指針	
	(5)一週目の振り返り	・一週目の振り返りと二週目に向けてのオリエンテーション	・一週目の振り返りを行い、実習計画書の達成状況及び二週目の目標や課題を一緒に共有する		・倫理綱領及び業務指針 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	
	(6)一週目の振り返り	・一週目の振り返りと二週目に向けてのオリエンテーション	・一週目の振り返りを行い、実習計画書の達成状況及び二週目の目標や課題を一緒に共有する		・倫理綱領及び業務指針 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	
第二週	(1)ソーシャルワーカーについての理解	・ソーシャルワーカーの姿勢や態度を観察 ・ソーシャルワーカーの実践を倫理綱領と照らし合わせる ・ソーシャルワーカーの業務同行(面接、電話、連携、カンファレンス、ミーティング、病状説明等) ・ソーシャルワーク記録の閲覧 ①実証におけるソーシャルワーカーの価値・倫理的理解 ②具体的な業務内容についての理解	・専門職として遵守しなければならない倫理綱領等と実際の実習体験を照らし合わせて説明する ・ロールプレイを通じ、ソーシャルワーカーの疑似体験をさせる ・日報等の資料をみせて説明することにより、ソーシャルワーカーの業務内容やどのような相談が多いのいう理解を深めさせる ・記録について、同行、閲覧したケースのフィードバック、ソーシャルワーク記録を作成させて、ソーシャルワーカーの記録と比較することによって理解を促進する ・実習機関の苦情解決の流れを説明する ・実習機関における権利擁護の取り組み(サポート加算、個人情報保護基準等)を説明し、理解させる	・倫理綱領及び業務指針 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	医療及び福祉に関する資料(パンフレットや文献)カルテ(診療録、看護記録、リハビリテーション記録等) 診療報酬に関する資料(診療録調整加算、患者サポート体制加算、介護連携指導料、地域連携バス)倫理綱領、行動基準、業務指針	
	(2)クライアントと家族とそれらを取り巻く環境の理解	・ソーシャルワーク記録、カルテ等の閲覧 ①権限から発生するクライアント・家族にとっての生活課題について理解する ②クライアントや家族の生活や環境についての理解	・ロールプレイを通じ、クライアント・家族の疑似体験をさせる ・病状説明にソーシャルワーカーが同席する意味、目的を説明する ・患者や、家族や、遺族がある場合は立派な経験や役割の役割を説明する ・ソーシャルワーク記録を数多く読み込み、クライアント及び家族がどのような生活課題を持っていて、そこのソーシャルワーカーがどのように支援しているのかを理解してもらう ・これまで関わってきたケースの振り返りを行い、ケース研究の対象者を検討、選定する	・倫理綱領及び業務指針 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	医療及び福祉に関する資料(パンフレットや文献)カルテ(診療録、看護記録、リハビリテーション記録等) 診療報酬に関する資料(診療録調整加算、患者サポート体制加算、介護連携指導料、地域連携バス)倫理綱領、行動基準、業務指針	
	(3)二週目の振り返り	・二週目の振り返りと三週目に向けてのオリエンテーション	・二週目の振り返りを行い、実習計画書の達成状況及び三週目・四週目の目標・課題を共有する		・倫理綱領及び業務指針 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	
	(4)二週目の振り返り	・二週目の振り返りと三週目に向けてのオリエンテーション	・二週目の振り返りを行い、実習計画書の達成状況及び三週目・四週目の目標・課題を共有する		・倫理綱領及び業務指針 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	
第三週	(1)インテークについての理解	・ソーシャルワーク支援過程における契約についての説明と契約内容の把握 ・面接技法の説明(面接技法) ・インテーク面接前の情報収集の方法の説明と体験 ・インテーク面接に同席、ロールプレイ、体験	・契約の目的や意味を説明し、ロールプレイや実際の面接場面において具体的に理解をさせる ・信頼関係構築のための、バイステックの7つの原則を面接場面でのように意識しているのかを説明する ・かかりつけの基本的な相談状況を確認する ・情報収集のためのカルテの閲覧やソーシャルワーカーと一緒に院内を行動する ・できるだけ多くのインテーク面接に同席させ、ソーシャルワーカーがクライアントとどのように信頼関係を構築しているかを観察、理解をさせる	・支援過程に関する知識 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	カルテ(診療録、看護記録、リハビリテーション記録等) ソーシャルワーク記録 アセスメントシート マッピングシート フェイスシート スクリーニングシート 面接記録 入院相談記録	
	(2)アセスメントについての理解	・アセスメントについての説明 ・アセスメントのための情報収集の方法の説明と体験 ・アセスメント面接に同席、ロールプレイ、体験 ・アセスメントの体験	・同席した面接の逐語録をとり、面接技術、価値、倫理等を理解させる ・機関で用いているアセスメントツールの説明を行う ・アセスメントシートを作成してもらい、ソーシャルワーカー(スーパーバイザー)のアセスメントと比べる ・支援過程の中でアセスメントは繰り返されることを説明し、クライアントの状況変化に合わせてアセスメントの必要性を説明する	①専門職の啓発 ②教育・訓練・管理における責務 ⑦調査・研究 ⑧個別化 ⑨差別化 ⑩統制された情報的開示 ⑪容容 ⑫非審判的態度 ⑬クライアントの自己決定 ⑭秘密保持	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	カルテ(診療録、看護記録、リハビリテーション記録等) ソーシャルワーク記録 アセスメントシート マッピングシート フェイスシート スクリーニングシート 面接記録 入院相談記録	
	(3)支援計画(プランニング)についての理解	・プランニングについての説明 ・支援計画の作成	・インテーク、アセスメントによって導かれた支援の方向性から、それを達成するための具体的な支援計画を作成させ、ソーシャルワーカーの支援計画と比べる ・クライアント、家族のウェルビーイングを達成することができるような支援計画を立てさせる ・誰もが理解できるような表現可能な方法や留意点をわかりやすく書くことを説明する	・インテーク、アセスメントによって導かれた支援の方向性から、それを達成するための具体的な支援計画を作成させ、ソーシャルワーカーの支援計画と比べる ・クライアント、家族のウェルビーイングを達成することができるような支援計画を立てさせる ・誰もが理解できるような表現可能な方法や留意点をわかりやすく書くことを説明する	・支援過程に関する知識 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	支援計画書 ケアプラン 診療報酬に関する資料(遠隔診療加算、介護連携指導料、地域連携バス)アセスメントに関する資料(渡部律子、ジャーマン等)
	(4)モニタリング・評価及び最終についての理解	・モニタリング・評価についての説明 ・モニタリング場面と同席 ・モニタリング結果の再アセスメントにつなげた事例があれば、過去の事例でもよいので説明する	・機関が行うモニタリング、評価について説明し、面接等の場面に同席させることで理解を深める ・モニタリング結果を再アセスメントにつなげた事例があれば、過去の事例でもよいので説明する ・支援の最終について、具体的な事例を用いて説明し、理解させる		・支援過程に関する知識 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	・観察技法 ・面接技法 ・コミュニケーションスキル ・記録の技術 ・自己の考え、感情等を言語化する技術 ・チームアプローチに関する知識 ・スーパービジョン ・医療及びそれに伴う生活課題に関する知識 ・生活環境に関する知識 ・グループワークに関する知識 ・アドボカシーに関する知識	支援計画書 ケアプラン 診療報酬に関する資料(遠隔診療加算、介護連携指導料、地域連携バス)アセスメントに関する資料(渡部律子、ジャーマン等)
第四週	(1)地域活動についての理解	・実習機関のある地域の特性と福祉課題についての説明と確認 ・地域の会議に参加 ・地域におけるソーシャルワーカーの活動についての理解 ・実習機関が行う地域活動についての説明と実証 ・機能団体の説明、資料の閲覧 ・機能団体主催の研修会等に参加	・実習機関のある地域の特性、諸制度、社会資源について調べさせる ・地域の関係機関の会議や勉強会に参加させ、連携について理解を深めさせる ・実習機関が行う地域に対する広域啓発活動について説明し、機会があれば企画、運営へ参加させる ・「ソーシャルワーカー及び機能団体が行っている(行った)ソーシャルワーク事例について説明し理解させる ・北海道医療ソーシャルワーカーの勉強会及び研修会に参加し、ソーシャルワーカー同士のつながり、学びの場を観察・体験してもらう	・アウトリーチに関する知識 ・地域アセスメント ・ソーシャルアクション ・イベント企画技術 ・広域啓発技術	・アウトリーチ ・地域アセスメント ・ソーシャルアクション ・イベント企画技術 ・広域啓発技術	自治体のホームページ 社会資源マップ 地域関係機関の資料 機能団体の規約、機関誌、研究誌等 地域の会議や勉強会の資料	
	(2)地域関係機関との連携についての理解	・実習機関のある地域の特性と福祉課題についての説明と確認 ・地域の会議に参加 ・地域におけるソーシャルワーカーの活動についての理解 ・実習機関が行う地域活動についての説明と実証 ・機能団体の説明、資料の閲覧 ・機能団体主催の研修会等に参加	・実習機関のある地域の特性、諸制度、社会資源について調べさせる ・地域の関係機関の会議や勉強会に参加させ、連携について理解を深めさせる ・実習機関が行う地域に対する広域啓発活動について説明し、機会があれば企画、運営へ参加させる ・「ソーシャルワーカー及び機能団体が行っている(行った)ソーシャルワーク事例について説明し理解させる ・北海道医療ソーシャルワーカーの勉強会及び研修会に参加し、ソーシャルワーカー同士のつながり、学びの場を観察・体験してもらう	・アウトリーチに関する知識 ・地域アセスメント ・ソーシャルアクション ・イベント企画技術 ・広域啓発技術	・アウトリーチ ・地域アセスメント ・ソーシャルアクション ・イベント企画技術 ・広域啓発技術	自治体のホームページ 社会資源マップ 地域関係機関の資料 機能団体の規約、機関誌、研究誌等 地域の会議や勉強会の資料	
	(3)地域への働きかけの方法(アウトリーチ)についての理解	・実習機関のある地域の特性と福祉課題についての説明と確認 ・地域の会議に参加 ・地域におけるソーシャルワーカーの活動についての理解 ・実習機関が行う地域活動についての説明と実証 ・機能団体の説明、資料の閲覧 ・機能団体主催の研修会等に参加	・実習機関のある地域の特性、諸制度、社会資源について調べさせる ・地域の関係機関の会議や勉強会に参加させ、連携について理解を深めさせる ・実習機関が行う地域に対する広域啓発活動について説明し、機会があれば企画、運営へ参加させる ・「ソーシャルワーカー及び機能団体が行っている(行った)ソーシャルワーク事例について説明し理解させる ・北海道医療ソーシャルワーカーの勉強会及び研修会に参加し、ソーシャルワーカー同士のつながり、学びの場を観察・体験してもらう	・アウトリーチに関する知識 ・地域アセスメント ・ソーシャルアクション ・イベント企画技術 ・広域啓発技術	・アウトリーチ ・地域アセスメント ・ソーシャルアクション ・イベント企画技術 ・広域啓発技術	自治体のホームページ 社会資源マップ 地域関係機関の資料 機能団体の規約、機関誌、研究誌等 地域の会議や勉強会の資料	
	(4)地域への働きかけの方法(アウトリーチ)についての理解	・実習機関のある地域の特性と福祉課題についての説明と確認 ・地域の会議に参加 ・地域におけるソーシャルワーカーの活動についての理解 ・実習機関が行う地域活動についての説明と実証 ・機能団体の説明、資料の閲覧 ・機能団体主催の研修会等に参加	・実習機関のある地域の特性、諸制度、社会資源について調べさせる ・地域の関係機関の会議や勉強会に参加させ、連携について理解を深めさせる ・実習機関が行う地域に対する広域啓発活動について説明し、機会があれば企画、運営へ参加させる ・「ソーシャルワーカー及び機能団体が行っている(行った)ソーシャルワーク事例について説明し理解させる ・北海道医療ソーシャルワーカーの勉強会及び研修会に参加し、ソーシャルワーカー同士のつながり、学びの場を観察・体験してもらう	・アウトリーチに関する知識 ・地域アセスメント ・ソーシャルアクション ・イベント企画技術 ・広域啓発技術	・アウトリーチ ・地域アセスメント ・ソーシャルアクション ・イベント企画技術 ・広域啓発技術	自治体のホームページ 社会資源マップ 地域関係機関の資料 機能団体の規約、機関誌、研究誌等 地域の会議や勉強会の資料	
事後学習	①実習課題の達成目標について振り返る ②実習記録及び実習成果について振り返る	・実習報告書の作成 ・実習報告書の準備 ・実習課題の整理と事例研究のまとめ	・実習報告書を確認する ・実習報告書等に参加し、これまでの実習を深められるよう発言・質問する ・実習成果の評価をする			実習評価表 実習報告書 ケース研究報告	